



保育優良事例視察調査報告書

～旭川モデルの構築に向けて～

視察期間 : 令和7年11月19日（水）～20日（木）

視察地 : 愛媛県松山市 / 高知県高知市

視察期間 : 令和8年1月28日（水）～30日（金）

視察地 : 神奈川県川崎市 / 埼玉県さいたま市 / 東京都

ASAHIKAWA CITY

視察概要



調査目的

保育の質向上に係る体制整備の在り方と関係機関との連携方法について、大都市圏の先進的取組を視察・ヒアリングし、今後の旭川モデル構築に活用する。

① 優良取組事例の把握

大都市圏で実施される保育の質向上・人材確保・施設間連携・支援センター機能等の先進的な実践事例を収集

② 課題の比較・検証

保育サポートコーディネーターが把握した市内各施設の課題を先進事例と照合し、改善策の方向性を明確化

③ 実践事例の収集

モデル事業2年目に予定するテーマ別ワークショップ・研修企画等の設計に向けた具体的取組事例収集

視察行程

11/19（水）松山市

- ・松山市役所 こども家庭部 保育・幼稚園課
- ・松山東雲女子大学・短期大学
- ・松山しなのめ認定こども園

11/20（木）高知市

- ・社会福祉法人高知福祉協会 ふくし園 / 多機能型保育支援事業らい～な
- ・高知県教育委員会事務局 幼保支援課
- ・うららか保育園

1/28（水）神奈川県川崎市

- ・川崎市こども未来局 保育・子育て推進部
- ・川崎市保育・子育て総合支援センター
- ・大島保育園

1/29（木）埼玉県さいたま市

- ・さいたま市役所 子ども未来局
- ・わらしベ保育園
- ・送迎保育ステーションうらわ

1/30（金）東京都

- ・東京家政大学板橋キャンパス（堀科教授）



四 国

(愛媛県・高知県)

① 松山市役所 こども家庭部 保育・幼稚園課



愛媛県松山市 | 中核市規模の先進取組

👤 保育士確保の取組

- ・「保育のお仕事フェア」愛媛県・松山市・社協の共催、来場者1,262名
- ・養成校・公私立約50園が参加、高校生ボランティア17校・約100名
- ・保育士資格を持つ市職員が中学・高校へ出前講座（月1回程度）
- ・保育補助者雇用支援（9月補正）・大学生向け体験ツアー実施



1,262名

お仕事フェア来場者数

約10名

保育士資格を持つ市職員

160万円

フェア運営予算規模

📁 ICT化・研修の取組

- ・公立園でYouTube研修動画を年6回配信（乳児保育・食育等）
- ・保育業務管理システム（ひめぎんソフト）を全公立園に導入

💡 旭川市への示唆

高校生ボランティア活用・養成校との三者連携体制・おむつサブスク等、本市でも検討可能な取組を確認。待機児童・保育士確保等の共通課題も確認でき、中核市同士の継続的な情報交換が重要。

② 松山東雲女子大学・短期大学

松山しなのめ認定こども園



保育士養成校と行政・現場の連携モデル

松山東雲短期大学の特色ある取組

- ・大学内に放課後児童クラブを設置（地域貢献・実践教育の両立）
- ・「木曜研究会」毎月第3木曜：現職保育士と教員の学び合い
- ・保育実践講座（東予・中予・南予）で県全体の質向上を支援
- ・子育て支援員研修（愛媛県委託）年2回・定員120名抽選実施
- ・施設実習連絡会にて実習の質向上



90%以上

愛媛県内への就職定着率

120名/回

子育て支援員研修 定員
(毎回抽選)

松山しなのめ認定こども園の特徴

- ・1968年開園 → 2024年に幼保連携型認定こども園として統合
- ・同一キャンパス内に養成校・附属園・大学教員が共存
- ・広い園庭・柿畑・さつまいも収穫など自然体験保育を重視
- ・異年齢交流（3歳未満～5歳）が日常的に行われる環境

松山市 × 旭川市 比較

項目	松山市	旭川市
県内定着率	90%以上	札幌流出が課題
公立園数	16園	2園のみ
養成校連携	体系的に実施	強化が必要

③ 高知福祉協会ふくし園 / 多機能型保育支援事業 らい～な



多機能型保育事業による伴走支援

高知県独自の地域子育てネットワーク事業（10年継続）

「ステップアップ」補助金制度とNPOの伴走支援



NPOの役割：煩雑な事務・報告書作成をNPOが代行し、保育園の参加ハードルを劇的に下げる伴走支援。



10年

継続実施（県単独事業）

20園

県下実施園数（目標40か所）

🌐 地域子育てネットワーク（潮江地区）

- ・らい～な参加園・認定こども園・子育て支援センター等が連携
- ・合同イベント「いいな らい～な 楽しいな」（年1回300～350名）
- ・潮江地区マップ（南海トラフ対策情報も掲載）を毎年更新配布

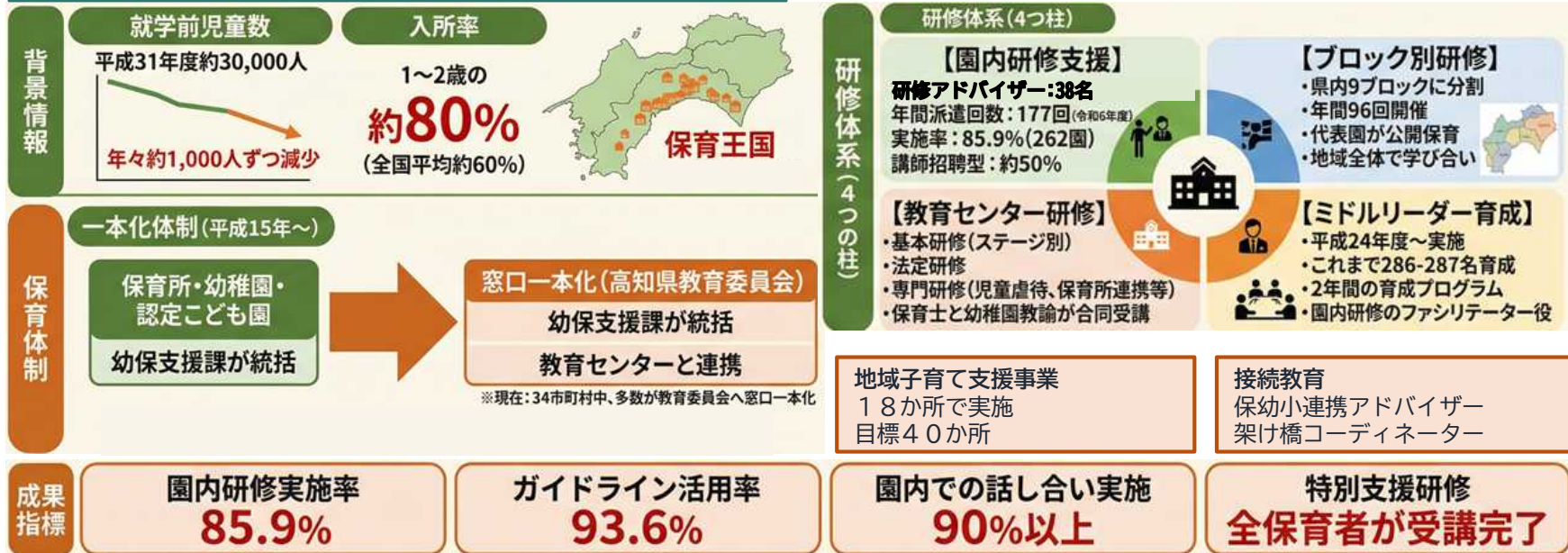
📍 ふくし園の特徴的取組

- ・週3回の子育て相談・サロン・園庭開放を実施
- ・来園した親子が同年齢クラスで在園児と一緒に活動
- ・和太鼓・マーチング・お茶稽古など独自の保育実践
- ・南海トラフ地震対応で四つ星評価（全園児分の避難靴常備）
- ・令和元年～STEP3継続（最高ランク）を維持

④ 高知県教育委員会事務局 幼保支援課



高知県 | 組織体制の一元化と親育ち支援の取組



👨‍👩‍👧 親育ち支援 (全国でも珍しい取組)

- ・「1日保育者体験」で保護者が保育に参加し子どもへの関わり方を実際に学ぶ
- ・「スクスクシート」配布・YouTube動画「生活リズムの大切さ」で保護者を支援
- ・ステージ別研修で「親育ち支援」の中核人材・地域リーダーを育成

主要ツール

「質向上ガイドライン」
活用率93.6%、
ステージ別自己評価シート

「園内研修の手引き」
研修の進め方を体系化

「接続実践ガイドブック」
幼保小連携の手順書

⑤ うららか保育園



うららか保育園 | 多様な保育サービスと幼保小連携の先進事例

🏠 病児保育

- ・ 保育園内に病児保育施設を設置
(高知市内唯一)
- ・ うららかクリニックと連携、定員3名
- ・ 子どもが慣れた環境で受けられる安心感

👶 一時保育

- ・ 生後5か月から受け入れ(申し込み殺到)
- ・ 育休取得増・核家族化で需要が急増
- ・ 0歳入園減少が一時保育の重要性を高める

👨‍👩‍👧 子育て支援センター

- ・ 「なかよし広場」午前・午後で開所
- ・ 育児相談・保護者同士の交流の場
- ・ 父親参加促進の取組も検討中

🏠 架け橋プログラム(幼保小連携)の成果

プログラム概要

うららか保育園を含む5つの園と春野東小学校が連携。保護者も参加し0歳～小学6年のカリキュラムを独自に作成

継続の秘訣

1年目の困難を乗り越え人間関係を構築。3年間の行政主導プロジェクト終了後も自主的に連携が継続(持続可能な連携モデル)

地域との連携

小規模多機能高齢者通所施設との交流(さつまいも苗植え・収穫)。コミュニティスクールとも連携し地域全体で子育てを支援



🌐 地域保育ネットワークの強化

高知県「多機能保育事業」のステップ制度は施設に過度な負担をかけず地域全体の子育て支援を拡充。NPO法人による橋渡しで行政と現場の柔軟な連携を実現。10年継続の成果

📖 体系的な研修・質向上システム

高知県の研修4本柱（園内研修・ブロック別・教育センター・ミドルリーダー）と93.6%のガイドライン活用率は20年以上の継続的取組の成果。ガイドライン整備が質向上の鍵

🤝 行政・養成校・現場の三者連携

松山東雲短大の事例。お仕事フェア・木曜研究会・施設実習連絡会等の継続的なフォローアップ体制が高い地域定着率（90%以上）を実現。旭川市立大学・短期大学部等との連携強化が急務

🏠 持続可能な幼保小・地域連携

架け橋プログラムが示す通り、人間関係を構築することで行政主導終了後も自主的連携が継続。病児保育・一時保育等の多様なサービスで地域の子育て支援拠点を形成



関東

(神奈川県・埼玉県・東京都)

① 神奈川県川崎市保育・子育て総合支援センター / 大島保育園



【川崎市の基本情報】



約155万人
(令和6年時点)



5年連続で
待機児童ゼロを達成



子どもの数は減少
利用児童数は増加傾向



7行政区は
7行政区(縦長)



子どもの権利条例を
全国に先駆けて制定

【保育・子育て総合支援センターの概要】

地域子育て支援
センター
研修室



保育園

条例：令和元年制定
整備状況：7区のうち4区でセンター開設、
他3区は区役所内に同等機能

「整備施設第一号川崎市」



保育・子育て総合支援センターの機能

- ・ 条例（令和元年）制定 → センター園の建替えに合わせて拠点化
- ・ 7区のうち4区でセンター開設（他3区は区役所に同等機能）
- ・ 川崎市保育・子育て総合支援センター
1～2階：公立保育園
3階：地域子育て支援センター・研修室
- ・ 人員：1区9名（全63名）保育士中心ジョブローテーション
- ・ エリア担当が区内約100園超を分担し「顔の見える関係」で個別支援

旭川市への示唆

保育センターが技術職（保育士）と事務職が同一施設で勤務する体制や各区の拠点として機能する仕組みは、旭川市が目指す保育センターモデルと合致する点が多い。
また、エリア担当制は、本市の組織体制を検討する上で参考となる取組である。

② さいたま市役所 子ども未来局 子育て未来部



さいたま市の保育行政の概況

- ・利用申込者数31,577人（前年比+497人）
- ・利用者数30,309人が過去最多
- ・待機児童4年連続ゼロ（H30から+180施設・定員10,714人増）
- ・保育需要ピークは令和12～17年頃、その後は減少へ転換の見通し
- ・R10年度から公立59園→10区に1基幹型（センター相当）

質向上・特別支援の取組

- ・公開保育研修会：毎年12園（R7年度：公立9私立3）で実施
- ・講師交え振り返り
R6年分公開保育実施園作成の「当日の活動案」は保育者の幼児教育・保育の質の向上を目的にHPに公開
- ・幼児教育保育相談員派遣（大学教員・OT・心理・ST等）

	種別	園数
認可施設	幼稚園（国立1、私立82）	83
	認定こども園（私立21）	21
	認可保育所（公立59、私立275）	334
認可外施設	地域型保育事業所（私立178） （小規模160/事業所内15/家庭的3）	178
	市認定保育施設（ナーサリールーム15、家庭保育室5）	20
	その他の保育施設 （事業所内/企業主導型/その他）	103
	計	739

さいたま市保育研究大会（公民一体）

- ・H20年度開始・今年度第17回、参加者約1,000名の大規模大会
- ・公立1園・私立1園が実践発表+総評+記念講演
- ・過去には旭山動物園 坂東園長（当時）による講演実績あり

③ 社会福祉法人いなほ会 わらしべ保育園



🏠 わらしべ保育園の特徴

- ・56年の歴史、職員46名・平均勤続約14年
(新人～ベテランの層が厚い)
- ・遊び中心・わらべ歌・絵本・言葉を重視
子どもの探究心・自律性を支援
- ・創設来より障害児受入継続。多国籍園児（約5カ国）を受け入れ



🏥 医療的ケア児の受入体制

- ・看護師5名（常勤・非常勤・短時間・保健師含む）1対1の看護配置
- ・医療的ケア児2名受入中（3年前に体制整備）
- ・ヒルシュスプルング病・脳性麻痺等の複雑ケアを保護者と連携して管理
- ・園の嘱託の臨床心理士が月1回巡回、医療的ケア看護師のネットワーク情報交換（毎月Zoom）

👨‍👩‍👧 園の取り組み（保育参加・公開保育等）

- ・保育参加：クラス25名中ほぼ全員が参加
(絵本読み聞かせ等)
- ・R7年度公開保育テーマ：インクルーシブ保育
(埼玉大学 安東先生が助言)
- ・幼児教育保育相談員派遣活用
- ・応急救護研修：8分到着を想定したシナリオ型AED訓練・事後フィードバック

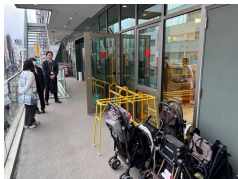
④ 送迎保育ステーションうらわ / ⑤ 東京家政大学（板橋）

送迎保育ステーションうらわの仕組み

- ① 朝 保護者が駅近くの送迎ステーションまで子どもを連れてくる
- ② 日中 幼稚園のバスがステーションへ迎えに来て送迎
- ③ 日中 連携している幼稚園で過ごす
- ④ 夕方 幼稚園バスでステーションへ戻る → 保護者のお迎えまで預かり

メリット・特徴

- ・小規模保育園を併設 → 0～2歳と幼稚園児が交流できる環境
- ・転園先として幼稚園へ → 顔なじみの子と再会できる安心感
- ・働きながら幼稚園利用できる



東京家政大学 堀 科 教授との打合せ

- ・キックオフシンポジウム（2月4日）の詳細を打合せ
- ・誰でも通園制度の実施状況・保育センター機能について情報交換

旭川市への示唆

送迎ステーションは都市特有だが「拠点による複合的子育て支援」という概念は参考となった。
東京家政大学の堀教授とのつながりにより、専門職の知見を旭川モデルの理論的基盤に取り込んでいく。



拠点機能の明確化

🏠 保育センターの拠点化モデル



保育の質向上に取り組む仕組

🤝 公民連携・研究大会・研修体系

保育所・幼稚園・大学・行政が「ONE TEAM」に